

大学の世界展開力強化事業(2021年度選定) 東京海洋大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2021年度・(タイプA①))

持続可能な海洋開発・利用を実現する高度専門職業人養成プログラム - オケアヌスプラス -

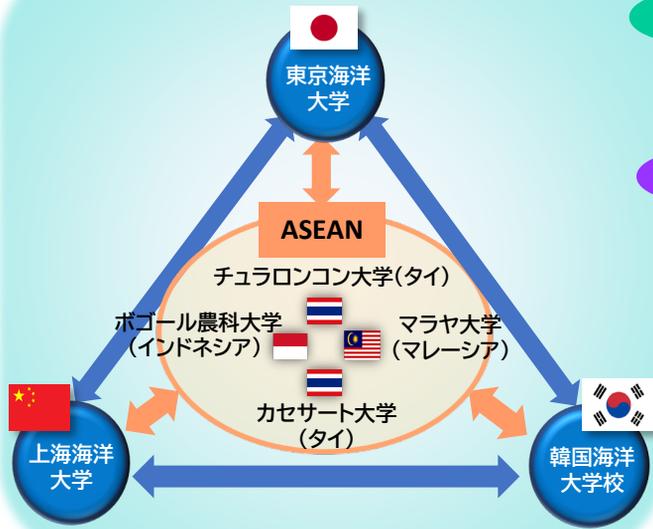
【交流推進事業の概要】

オケアヌス(OQEANOUS) プラスプログラム

Oversea Quality-assured Education in Asian Nations for Ocean University Students Plus

広く海洋を共有する日中韓・ASEAN諸国

参加意欲を喚起する段階的なプログラム



綿密なコミュニケーションと外部評価による質の向上



【交流プログラムの概要】

中長期的視点を踏まえた持続可能な海洋開発・利用を推進するためには、日中韓のみならず広く海洋を共有するASEAN諸国を含めた広域のアジア経済圏の中で、相互理解と緊密な連携の下、共有する諸問題を解決していく必要がある。本プログラムは、2016年にキャンパスアジア第2モードの採択を受け開始した『日中韓版エラスムス』を基礎とした海洋における国際協働教育プログラム(通称:オケアヌスプログラム)の成果を引き継ぎつつ、日中韓海洋系3大学のコンソーシアムを海洋国家として重要な位置づけにあるASEAN諸国にまで拡大し、日中韓、ASEAN諸国一体となり、SDGs達成に向けた戦略に対応できる高度専門職業人育成を通じて、アジア諸国の海洋産業の安定と発展に寄与するとともに、アジア経済圏の海洋分野における本学及びコンソーシアム参加大学の世界的なプレゼンスの更なる向上を目的とする。

【本事業で養成する人材像】

人材育成目標:「SDGs達成に向けた戦略に対応できる国際的な高度専門職業人」
 具体的には、海洋をフィールドとする産業界において、特にアジア諸国の海洋国家で共有する課題を正しく認識した上で、専門分野にとらわれることなく解決策を立案し、チームとしてプロジェクトを遂行することで産業構造の変革を牽引できる人材

【本事業の特徴】

- ▶ 大学院レベルでの質の保証を伴う教育交流プログラム実現に向けたガイドライン構築
 「エラスムス計画」の手法を取り入れつつ、各国の大学院教育の独自性を保持した7大学統一基準の単位互換システムである「CTSEA Plus ガイドライン(仮称)」、教育内容を可視化するコースカタログの他、派遣前に学生と両大学間で締結するラーニングアグリーメントの様式を構築し公表。
- ▶ オンラインと実渡航を融合した効果的かつボーダレスなプログラムの提供
 実渡航のみであったプログラムにオンラインを融合。導入から体験を経て、単位互換、共同学位取得まで、学部低年次から博士後期課程まで段階的に進めることが可能な「学習効果の高い」「参加へのハードルが低い」プログラムを提供。
- ▶ ダブルディグリープログラムを博士後期課程まで拡大
 第2モードで博士前期課程学生を対象に構築した共同学位(ダブルディグリー)プログラムを、博士後期課程まで拡大し、オンラインを有効に活用した学位論文審査システムを構築。

【交流予定人数】

		2021	2022	2023	2024	2025
派遣	実際に渡航する学生	1	8	10	11	11
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	5	0	0	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	5	5	5	5
受入	実際に渡航する学生	0	8	11	11	11
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	22	22	22	22
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	10	10	10	10

